

一宮市自転車ネットワーク計画(案)の概要



1. 自転車ネットワークの構築

・自転車利用者が安全、安心に通行できる自転車ネットワークを整備します。

I. 優先的計画策定エリア

・効果的、効率的に自転車ネットワークを確立するため、優先的計画策定エリアを設定します。

エリア設定の考え方

安全性 = 「自転車事故の多いエリア」



需要 = 「自転車通行量の多いエリア」



※将来的には、エリアの拡大を検討する予定です。

II. 自転車ネットワーク路線と整備形態

・自転車ネットワークを構築する路線を選定します。
・規制速度と自動車交通量から、自転車通行空間の整備形態を選定します。

路線選定の考え方

安全性
= 「自転車事故」

実用性
= 自転車で利用したい人が多い「2車線道路」(138タワーパーク・富田山公園)

需要
= 「自転車利用者の主な利用経路」

整備形態の考え方

○規制速度と自動車交通量から選定



レジャー
= 木曾川サイクリングロードの拠点へのアクセス

○ネットワーク路線延長：約48.3km
【内訳(整備形態別)】
[車道混在]
・市管理道路：約 1.3km
[自転車専用通行帯]
・県管理道路：約22.4km
・市管理道路：約24.6km

整備形態
— 車道混在
— 自転車専用通行帯



138タワーパークへのアクセス



※整備形態は、詳細な検討のうえで、関係機関等との協議を行い決定するため、変更となる可能性があります。



III. 整備優先区間

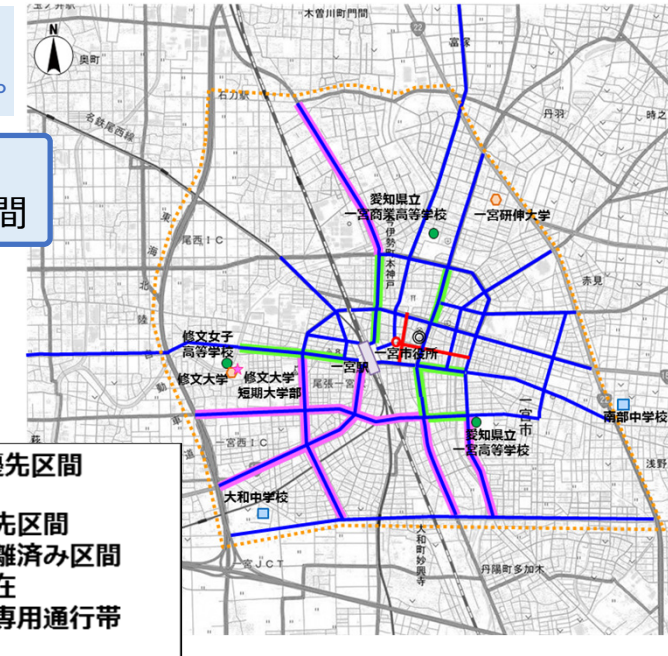
・自転車ネットワーク路線に優先度を設定し、効果的、効率的なネットワークの構築を推進します。

- 整備優先区間：約10.3km
- 整備期間：平成32年度～36年度の5年間

整備優先区間の考え方

- ①一宮駅周辺地域に至る路線
- ②早期に整備可能な路線(利用者意識の向上)
- ③ネットワークの連続性

※整備に必要な予算の確保、関係機関等との協議により、変更となる可能性があります。



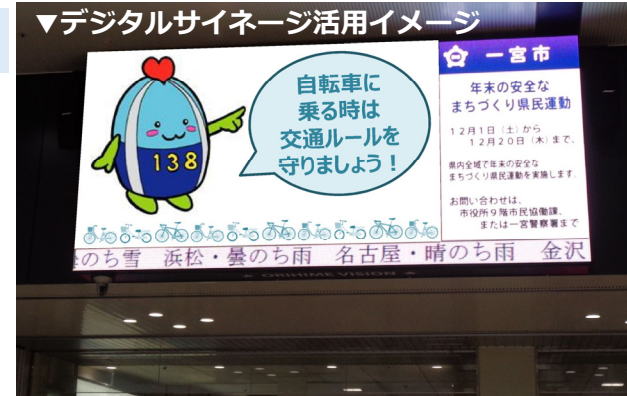
整備優先区間
— 整備優先区間
— 視覚分離済み区間
— 車道混在
— 自転車専用通行帯

2. 自転車利用ルールの周知・啓発

・自転車利用ルールの認知度の向上を目指します。

周知・啓発のための取組み

- ①大規模集客施設での自転車イベントなどの実施
- ②i-ビル内のデジタルサイネージを活用した周知
- ③SNSを活用した関連イベントの紹介
- ④自転車利用ルールのチラシの配布 など



3. 目標設定(平成36年度まで)

目標指標	現状値	目標値
①自転車の安全性 ⇒優先的計画策定エリア内の自転車事故件数	H31年の事故件数 【参考値】251件 (H24～H28の平均)	8%削減
②自転車利用ルールの認知 ⇒自転車通行ルールの認知度	平均認知度 約55%	ルール全項目において 認知度 75%以上

4. 計画策定スケジュール

H31.2.1(金)～3.4(月)
パブリックコメント(意見募集)



H31.5(予定)
自転車ネットワーク計画公表